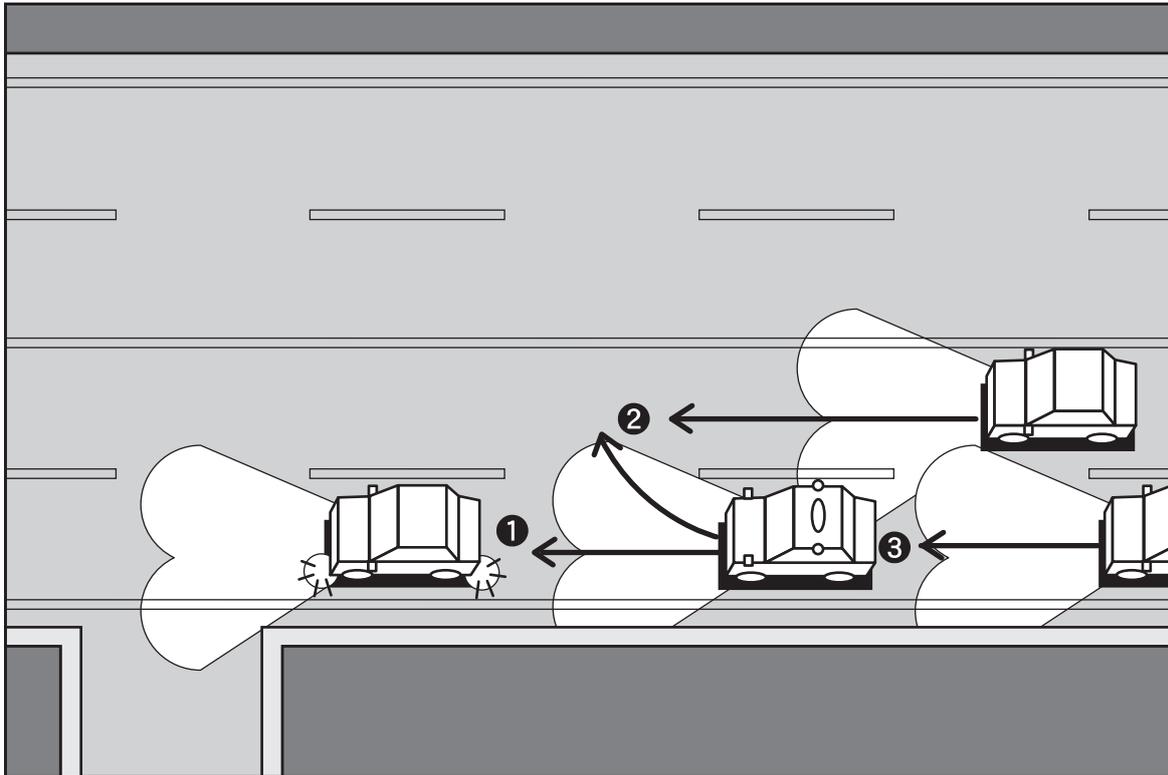


〔タクシー 2〕 夜間の道路を走行



1．主な危険要因の例

- ① 左の合図を出した前車は左折するために減速や停止をすることが予測されるが、それに気付くのが遅れると追突する危険がある。
- ② 停止をした前車との追突を避けるためや、前車を追い越そうとして右側車線に進路変更をすると後続車と衝突する。
- ③ 後続車があるので、前車との追突を避けるために急減速や急停止をすると追突される危険がある。

2．安全運転の例

前車は、いつ減速や停止をするかわからないので、常に車間距離を保持して走行する。

進路変更をするときは、必ず後続車の有無を確認し、後続車が接近しているときは進路変更をしない。

急減速や急停止は後続車に追突される危険があるので、徐々に速度を落とすようにする。

3．乗務員指導のポイント

前車が左折の合図を出しているときは、前車が減速したり停止することを予測して走行するよう指導する。

強引な進路変更が事故の大きな要因の一つとなっているので、後続車が接近しているときは進路変更をしないことを徹底させる。